

# 岐阜県代協ニユ〜

平成23年5月  
vol.194



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

# 東日本大震災「報告会」に参加して

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会 会長 おおえ 大江 かねお 金男

東日本大震災発生から2カ月以上が経ち、被災地では復旧・復興へ向けて全力を挙げた取り組みが行われています。

地震保険の支払状況は損保協会の発表によると、5月18日現在の地震保険調査完了件数454,231件、支払件数391,256件、支払保険金7,582億円です。(受付件数549,062件)

損保各社とも迅速な保険金支払いをめざして、震災発生当初から特別な体制を組み、全国から社員を現地調査や支払い部門に人員を派遣しています。

先日T社の岐阜支店で支店長とともに宮城県の実態調査に行かれた代理店3名と、支払のための現地調査に派遣された社員、支払業務にあたられた社員の報告会が開かれ、私も参加させていただきました。

その感想をまとめてみますと、第1にT社が被災した現地の代理店に対する水・食料、パソコン復旧などの素早い対応がなされていること。第2に岐阜県の代理店が現地の実態調査に勇気を持って行かれ、支店長も同行されたこと(物見遊山と思われはしないだろうか躊躇していた自分に対して)。第3に津波で流されたり火災により焼失した全損物件を除き、建物は一部損が多いのに対し、家財は半損が多いということ。第4は放射漏れの地域の物件調査はどうなってるかとの疑問。

報告された代理店さんは、「地震保険は再建のためというより、当座の生活資金という色合いが濃いので、家財の地震保険に入ってもらおうよう勧めたい」と語って見えました。

できれば岐阜県代協の各支部で報告会を開くことができればと思います。

6月15日に日本代協総会が開催されます。被災地の代理店の様子も詳しく紹介されると思われるので、皆さんにもご報告いたします。

東海・東南海地震が発生した場合、岐阜県は南濃地域を除けば津波より損壊被害が中心になると考えられます。今後、実際に震災発生時を想定した代理店のあり方を検討していきたいと思っております。

5月18日に損保協会より「損害保険大学課程」を創設しますというニュースがリリースされました。詳しくはこの代協ニュースで紹介していますのでご覧ください。



## 目次

1 p	・ 会長挨拶 / 目次	9 p	・ 中さんの保険諸国慢遊記 (61)
2 p	・ スケジュール / 事務局より	10 p	・ ~ 保険ジャーナリスト 中崎章夫 ~
3 p	・ 日本代協ニュース	11 p	・ なるほど『ぎふ雑学』(26) ~ 松尾 一 ~
4 p	・ 県総会報告	12 p	・ SHINWA グループ
5 p	・ 支部活動報告	13 p	・ 損害事故復旧サービス ~ ホームステップ(株)伊谷 ~
6 p	・ 委員会報告	14 p	・ 交通事故による損害復旧工事 ~ (有)岐垣創建 ~
7 p	・ 代理店紹介	15 p	・ 東日本大震災義援金報告 & 御礼
8 p	・ 会員投稿記事		

# スケジュール/事務局より

## ～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
5	11	水	岐阜支部	役員会(12:00～)	長良川スポーツプラザ6F
	11	水	西濃支部	例会(11:00～)	鶴見天近
	11	水	県代協	平成23年度定時会員総会(13:30～)	長良川スポーツプラザ
	12	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわや
	19	木	県代協	企画、組織、教育合同委員会(12:00～)	ヤザワ
	26	木	岐阜支部	東ブロック会(12:00～)	鴻瀨館
	26	木	岐阜支部	西ブロック会(12:00～)	馬喰一代
6	1	水	西濃支部	例会(13:30～)	鶴見天近
	2	木	岐阜支部	役員会(12:00～)	岐阜県図書館
	8	水	日本代協	保険大学第12期生第4回セミナー	ウインクあいち
	8	水	広報機関誌	委員会(13:00～)	岐阜県代協事務局
	8	水	中濃支部	救急救命講習(13:00～16:00)	可茂消防署
	9	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわや
	15	水	日本代協	平成23年度定時会員総会(10:00～)	損保会館
	22	水	東海ブロック	CSR委員会(10:30～)	愛知県代協事務局
	22	水	東海ブロック	東海ブロック協議会(14:00～)	愛知県代協事務局
	28	火	県代協	年会費諮問委員会(13:30～)	岐阜県代協事務局
7	6	水	理事会	理事会(13:30～)	瑞穂市総合センター(予定)



## ～ 事務局より ～

平成22年度 保険募集人賠償責任保険の新規加入受付中です。

7月20日(水)までにお申し込み送金下さい。

(中途加入可 毎月20日締切、翌1日始期)

ただし、平成23年 8月～ 9月のお申込は平成23年10月1日始期となりますので

加入希望の方はお早めにお申込下さい。

岐阜県代協事務局

TEL : 058-294-1221 FAX : 058-294-8051

Eメールアドレス : [gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp) (担当:小川百合子)

# 日本代協ニュース

## 保険募集人のさらなるステップアップの仕組みとして

### 日本代協は損保協会と「損害保険大学課程」を創設します！！

日本代協と損害保険協会は、平成23(2011)年10月実施予定の「損害保険募集人一般試験」に合格した損害保険募集人が、さらなる保険募集の品質向上に取り組むことにより、お客様にご満足いただけるサービスを提供できるよう、平成24(2012)年7月(予定)から「損害保険大学課程」をスタートします。

日本代協では、保険募集に関連する幅広い知識修得のため「保険大学校」・「認定保険代理士制度」を実施しており、一方、損保協会では、同様の趣旨で「損害保険代理店専門試験」を実施しています。本課程は、両協会が合同検討の上、制度を整理・統合し、今般、損害保険業界共通の制度として構築するものです。

本課程では、日本代協が**教育プログラムの「指定教育機関」**となり、「専門コース」と「コンサルティングコース」の2つのコースを設け、それぞれ専用の教育プログラムを修了し、試験に合格した募集人のうち、所定の認定要件を充足した者を損保協会が認定します。

#### 損害保険大学課程の概要

項目	概要
認定対象者	・原則、代理店の募集人
認定の種類・教育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップアップを目指す目的に応じて「専門コース」と「コンサルティングコース」2つのコースを設ける。</li> <li>・「専門コース」は、保険募集に関連の深い「損害賠償・相続などの法律知識」「保険税務」「医療・介護・労務などの社会保険」「リスクマネジメント」「隣接業界」の知識について、専門的に学ぶコース。</li> <li>・「コンサルティングコース」は、お客様に対する高いコンサルティング能力・スキルを修得するため、「保険契約の実務」「リスクマネジメントの実務」「経営学」などに関する実践的な知識・スキルについて学ぶコース。</li> </ul>
教育プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記教育内容を効率的に習得できるよう、「専門コース」、「コンサルティングコース」ともに、専用の教育プログラムを導入する。</li> <li>・「専門コース」の教育プログラム(任意)は通信教育を予定。</li> <li>・「コンサルティングコース」の教育プログラム(必須)は、お客様へより適切なコンサルティングを行う能力を養成するため、通信教育のほか、セミナー、ディスカッション等を予定。</li> </ul>
認定要件	試験の合格等 「専門コース」：損保一般試験「基礎単位」および「商品単位」1単位以上を合格したうえで、専門コース試験に合格すること。 「コンサルティングコース」：損保一般試験「基礎単位」および「商品単位」全3単位の合格、ならびに損害保険大学課程「専門コース」の認定を取得したうえで、コンサルティングコース試験に合格すること。
	募集人としての適格性 過去3年以内に、保険業務に関し、著しく不適切な行為がないこと。
	登録・届出年数 「コンサルティングコース」については、募集人としての「登録・届出年数」が2年以上であること。
認定主体	・損保協会
更新制度	・5年の更新制とする。
移行措置	・日本代協認定保険代理士(第14期生を含む)には「専門コース」「コンサルティングコース」ともに認定される予定。
認定証の発行等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定証の発行。</li> <li>・名刺等への認定取得者であることの表示 など。</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「専門コース」認定試験は、平成24(2012)年7月に実施予定。</li> <li>・「コンサルティングコース」の教育プログラムは平成25(2013)年度に開講予定。</li> </ul>

## 平成23年度岐阜県代協総会開催報告

平成23年度団法人岐阜県損害保険代理業協会総会が23年5月11日午後1時30分から長良川スポーツプラザ2階大会議室で開催された。

森事務局長の司会により次のごとき式次第により厳粛に執り行われた。

1. 日本代協倫理綱領唱和
2. 東日本大震災の犠牲者および物故会員に捧げる黙禱
3. 開会の辞（安江副会長）
4. 挨拶 大江会長、日本損保協会岐阜損保会岩本会長、日本代協鈴木常任理事
5. 総会 議長に飛騨支部坂家氏、副議長に西濃支部北村氏を選出

出席者 63名 委任状 95名 計 158名（総会員 211名） 74.88%

第1号議案 平成22年度事業報告、決算報告

第2号議案 平成23年度事業計画案、予算計画案 両議案とも全会一致で可決承認された。

6. 閉会の辞（笠城副会長）で滞りなく総会を閉会した。

午後3時より3月11日日本代協会長に就任された岡部新会長による記念セミナー「活力研セミナー」～活力ある代理店制度等研究会報告～が開催された。

保険会社との「心ある対話の場」として平成19年にしたのが「活力ある代理店制度等研究会（活力研）」であり、平成23年度で5年目を迎える。議論内容は、毎年報告書にまとめて全代協会員に配布し、「現状と課題」・HPに掲載されている。

日本代協と保険会社とが「気づきの場」としてお互い心のこもった話し合いがされていたとは、充分認識していなかった。今後、会員全員にあらゆる方法で知らしめていきたいと思いました。

<小西>



大江会長



岡部 日本代協会長

# 支部活動報告

## 【岐阜支部役員会報告】

開催日時 : 平成23年 5月11日(水) 11:30~  
開催場所 : 長良川スポーツプラザ レストラン杏 出席者数 : 9名  
報告者名 : 岐阜支部長 岩田 篤宗

### 《議題》

5月各ブロック会 東ブロック開催予定 5月26日(木)  
西ブロック開催予定 5月26日(木)

合同ブロック会 6月下旬開催予定(東ブロック長担当)

5月のブロック会にて、会員増強をアピールする。

県より報告 会費の件についての意見交換をブロック会にて話し合う。

次回役員会は 平成22年 6月 2日(木) 12:00~  
場所 岐阜県図書館 レストラン杏にて

## 【西濃支部5月支部例会報告】

日 時 : 平成23年5月11日(水) 11:30~12:30  
場 所 : 鶴見天近 参加者数 : 12名 報告者 : 後藤 益充

### 《議題》

東日本大震災義援金のお礼

平成23年度県定時総会のご案内

- ・日 時 平成23年5月11日(水) 13:30
- ・場 所 長良川スポーツプラザ

CSR委員会より

- ・4月29日 長良川を美しくしよう運動の報告
- ・エコキャップ運動協力御礼(ペットボトルのふた回収)

7月西濃支部親睦会の企画

メールアドレス登録完全化について

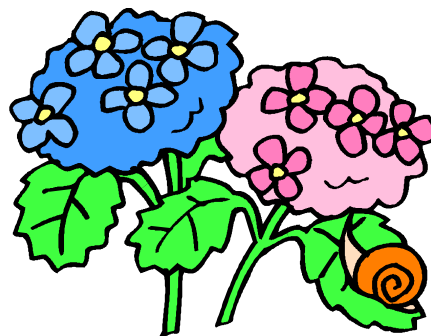
- ・西濃支部残り2会員様

会員増強 キャンペーンのご案内

- ・報奨金として入会金相当額 (5月~10月)

その他他社の動向

次回の例会は 6月1日(水) 場所 鶴見天近



## 【中濃支部活動報告】

5月支部例会の開催はなしとし 県代協定時会員総会に代えさせていただきました。

また、5月16日にFAXにてご案内の通り、6月支部例会は救命救急・AED講習を行いますので多数のご参加よろしくお願ひします。

### 《救命救急・AED講習》

開催日時 : 平成23年 6月 8日(水) 13時00分~16時00分

開催場所 : 可茂消防署 (美濃加茂市加茂川町)

消防署より、当日、好天の場合、駐車場にてレスキュー隊の訓練があると少台数しかとめれないとの事です。相乗りもしくは公共交通機関でお越しください。

また、腕の悪い方。心臓の弱い方等参加出来ない場合があるとの事ですのでご了承ください。

報告者名 : 中濃支部長 吉田 春次

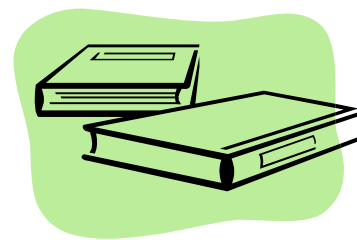
# 委員会報告

## 【教育委員会】

《日本代協保険大学 第14期生募集中！！》

平成23年 4月 1日より日本代協保険大学校第14期生の募集中です。  
岐阜県代協はスタートダッシュで今年度目標を見事達成いたしました。  
第14期の各支部の現申込者数は下記の通りとなっていますので、ご確認いただき  
未受講の会員の方、会員の従業員の方など、ご紹介のほどあらためてお願いいたします。  
なお、今回の申込みは先着順となっておりますので、申込者多数の場合はお申込を  
お受けできない場合もありますのでお早めにお申し込み下さい。

岐阜支部	申込者数	15名
西濃支部	申込者数	8名
中濃支部	申込者数	4名
東濃支部	申込者数	5名
飛騨支部	申込者数	0名
非会員	申込者数	3名
計		35名 (5月24日現在)



日本代協は損保協会と平成24(2012)年7月(予定)から  
～保険募集の品質向上のために～ 募集人のさらなるステップアップの仕組みとして、  
『損害保険大学課程』を創設します。

詳細は本紙P-3日本代協ニュースおよび損保協会ホームページをご参照ください。

[http://www.sonpo.or.jp/news/release/2011/1105\\_02.html](http://www.sonpo.or.jp/news/release/2011/1105_02.html)

(報告 担当副会長 山口 京子)

## 【CSR委員会】

### 長良川清掃活動報告

開催日時 : 平成23年4月29日(水) 7:00～  
開催場所 : 長良橋北詰 インラインスケート場  
参加者数 : 10名  
報告者名 : 小林 悦雄

岐阜支部より小西専務理事、森事務局長、ケイズモータース河村会員ご夫妻、西濃支部より大原自動車工業 大原会員、また、後藤理事が今回もご家族5名でご参加いただき、CSR委員会より高橋、小林の2名、併せて12名が参加し例年より、1時間ほど開始時間が遅くなった朝 7:00より、長良橋北詰インラインスケート場を中心に爽やかな朝の光の中心地よい汗とともに清掃活動に参加いたしました。 ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



5月11日、平成23年度定時会員総会会場にご持参いただきましたエコキャップと今年度すでに収集いたしておりました分と併せて約16,000個を「若者サポートステーション」さんへお届けしました。  
約20人分のポリオワクチンを開発途上国の子供たちに送ることができます。ご協力ありがとうございました。

# 代理店紹介

## 岐阜支部 株式会社 アルファ・パートナー

<代理店名>  
株式会社 アルファ・パートナー

<事務所所在地>  
〒500-8212  
岐阜市日野南9丁目3番5号  
TEL 058-248-4560  
FAX 058-248-4561  
E-mail hoken@alpha-pt.co.jp

<代表者名>  
代表取締役 大西秀樹

<スタッフ>  
6名（男 2名 女 4名）  
委任型募集人（パートナー）11名



手前中央 大西秀樹代表取締役

<取扱保険会社>  
損保 東京海上日動火災保険 計1社  
生保 東京海上日動あんしん生命 計1社

<略歴>  
平成22年 6月 設立  
平成22年 7月 開業

<事務所の環境>

国道156号線沿いの緑が豊かな風光明媚な場所です。  
また、岐阜北部南部のみならず、関・各務原方面にもアクセスが容易です。



<経営方針>

いつもあなたのプラス でありたい・・・

プラス の価値提供を世の中に贈り続けることを糧として、  
永続的に成長する企業となる。



# 会員投稿記事

## 一社専属代理店の悩み

突然の質問です。

昼食の時間になりました。

顧客から、『ハンバーグランチを食べたいんやけど、どっか紹介してや・・・』と相談を受けました。

知っている店は3軒あります。

- ・ A店のハンバーグランチは、200gで価格¥700 味のランクは 8
- ・ B店のハンバーグランチは、200gで価格¥900 味のランクは 5
- ・ C店のハンバーグランチは、150gで価格¥850 味のランクは 3



あなたはどの店を紹介しますか？ A店・B店の情報を知らなかったらC店でしょうが、当然、美味しくて安いA店を紹介します。しかし良くないのは、A店・B店の情報を知りながらC店を紹介した場合です。こんな単純なQ&Aですが、我々保険代理店は平気でC店を紹介しています。

良い店があることを（他の保険会社の良い情報を）知らずに営業をする代理店。

良い店があることを（他の保険会社の良い情報を）知っていながら、それを隠して営業をする代理店。

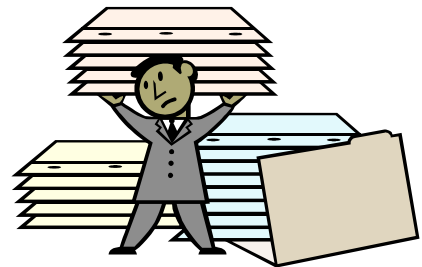
いずれも消費者が求めている代理店像ではありません。

さて、さて、本題のA社専属代理店の悩みです。

A社は他社に先行して保険料の値上げをしました。

他社は半年遅れで値上げの予定です。

消費者から信頼される代理店は以下のどれでしょう？



他社情報を知らず、淡々と契約する代理店。

他社より保険料が高いことを知っているが、高いことを説明せずに契約する代理店。

他社より高いことを顧客に説明し、詫びて契約する代理店。

他社が安いことを説明し、今年だけは他社での契約を勧める代理店。

他社情報を知っている一社専属代理店の悩みは、～のいずれで営業をするか？ということです。で、消費者が『貴方は正直だ。信頼される代理店だ。だから、保険料が高くても貴方に加入する』と言ってくれば良いのですが・・・

貴方が消費者ならどの代理店を選びますか？

貴方がこの代理店ならどんな手法で営業しますか？



（投稿者名：悩め～る代理店）

## 保険代理店業は人のつながりで成り立つ産業

### 被災地気仙沼を訪れて

先週、3月11日の東日本大震災による大津波などで沿岸部が壊滅的な被害に遭った宮城県気仙沼に行ってきた。東北新幹線で一関まで行き、駅前の宿が取れず、観光地の巖美溪に旅館をとる。警視庁の被災地支援部隊の宿となっていたため、旅館前にはバスはじめ警察車両が並ぶ異様な風景であった。朝、レンタカーで気仙沼に向かう。五月晴れ。新緑が美しい季節であるが、沿岸部にいたり景色が一変する。道路は突貫整備されても、巨大津波、さらには重油による火災は、荒涼たる世界をもたらした。テレビや新聞などでその光景は見てきたはずだが、そのあまりの空白感を目の当たりにすると、絶句してしまう。

### 5感を揺さぶる惨状

歴大な瓦礫の山々のそこかしこには「○月○日完了OK」という印が付けられている。搜索終了の符号であろうか。その日もあちこちで全国から動員された警察の方々が搜索作業を続行していた。

津波と火災の法外なエネルギーによる熱で鉛のように曲がりくねり褐色化した鉄骨、変形したり横転したり、積み上げられたクルマの山、黒焦げの船舶、陸に乗り上げた巨大船舶、転がる重油タンク、水たまり、汚泥など。かつての街並みを想像すらできない惨状が眼前にある。マスク越しに伝わる特有の臭いもまた5感を揺さぶる。汚泥、瓦礫から巻き上がる粉じんもまた脅威である。

### 再生のカギは

気仙沼の経済の屋台骨を支える漁業、水産加工業、冷凍・冷蔵業、経済全体の8割強を占めるこうした産業が受けた壊滅的ダメージは測り知れない。とはいえ、この地域の発展は海がもたらしてくれていることも否定できず、海洋資源に係るこの産業再生抜きに気仙沼の再生はないのも確かである。そのために、どこから手をつけるのか、途方に暮れてしまう現実がそこにあるが、迅速かつ確な復興プランの作成、現地の意向をくんでの1日も早い復興を願わずにはいられない。

### 人の絆の産業の原点を実感

現在仮事務所での不自由な生活に耐えながら、地元住民のために奮闘しておられるモリ保険事務所 [www.morihoken.com](http://www.morihoken.com) の森雅志さんを訪問。自身自宅も事務所も車も失った。活動の足は東京の方から送られた義援車である。またホームページも作成支援してくれる方があり有難かったという。森さんは今回の震災を通じ人のつながり、絆の大切さを思い知ったという。津波は多くの方の住居や事業所を呑み込んでしまった。どこに避難しているのか所在もままならない中で、自ら想像力を働かせ、地縁、血縁など人のネットワークを手繰り、安否確認しながらあらたに手作りで顧客リストを作成し直した。事務所を失い、取引先の保険会社の支社も被災したが、サイボウズというグループウェアを活用していたことで、顧客との取引履歴、提案時のやり取りなどを独自に遠隔地（長野）のサーバに管理しリスク分散していた事が幸いしたという。

### 被災住民感情わきまえた活動

地震保険は全件、鑑定スタッフとともに回り、個々の家族の方々と心の交流を続ける。4百件以上のその支払い作業もようやくめどがついたようだ。活動をともにしてくれた方々、被災された住民との交流には万感の思いがあるという。このような活動は、住民の痛みを自分の痛みとして感じることができる地場のプロ代理店だからこそ出来ることである。被災住民の思いや住民感情に敏感でなくては的確な現場での行動など望むべくもない。改めて地元ならではの産業の原型・原点を再発見した思いがある。こうした各地の心のもった活動が保険産業にフィードバックされる仕組みがほしい。

### どっこい頑張る気仙沼らぁめん舌鼓

昼、移動中に、壱萬館という気仙沼らぁめん屋で食事をする。自宅は流されたが、難を逃れた赤岩老松の店舗で寝泊まりし営業をしているという。食べた辛味噌味の気仙沼ほるもんらぁめんはなかなかうまかった。スープはサンマの香油で取っているという。タッチの差で売れ切れ、食べそこなった気仙沼らぁめんをいずれかの日に改めて食べにきたいと思った。

### 大震災が問い直した平素のつながりの大切さ

大震災を契機に、人のつながりの大切さが改めてクローズアップされている。昔のような共同体意識は薄れてきて、個々の人のつながりは見えにくくなってはいても、人は一人では生きていけないこと、助け合って生きていく存在であること、すなわち社会的な存在であること、このような当たり前のことの意義を改めて問いかけてくる。今の時代に適応できる縁作り、とのネットワークづくりの大切さを改めて印象付けた。

### ペアリング支援

今回の大震災で注目された動きの一つに、平素からの自治体はじめ各種団体同士の交流をテコにした支援の仕組みがある。中国では四川大地震の時に発展途上の内陸被災地域を経済的に発展している地域（自治体）に経済支援させ復興のスピードア

ップを図った「対口(たいこう)支援」が有名である。日本でも自治体間等でペアリング支援とも呼ばれるこうした動きが出てきている。例えば、宮城県を愛知県が復旧・復興支援するというように被災地区を県別に分担して一対一でパートナー支援する仕組みである。これにより被災自治体は、金銭面だけではなく物資の供給力、管理手法さらには優れた人材を得ることが可能となるし、支援する自治体も支援を通じ災害時のノウハウの蓄積や人材の養成が図れる。

国、自治体から各種団体、グループ果ては個人に至るまで、各段階で平素からこうしたきめ細かな協力体制、縁作りができていれば、有効な支援の仕組みができるはずである。公的な被災地支援活動のみならず、寸断された被災地の情報をつなぎ支援の輪を広げる草の根のボランティアの活動や携帯電話がダウンした折に威力を発揮したIP電話やFacebook等SNSネット機能の有効性も印象付けられた。

### 地震保険の役割の再確認

被災者の生活支援という点では、地震保険の本来の役割も再評価されるところとなったし、その目的がどこにあるか、国の関与があって初めて成り立つ巨大リスク引き受けのむずかしさや、財産復旧を目指す従来の損害保険との違い、被災者の生活の緊急支援という費用保険の位置づけの役割と限界の理解を深めるところとなった。また保険普及の大切さを改めて再確認させるところとなっている。

保険という機能も本来、不幸な目に遭った加入者を加入者全員で、経済的にも、その副次効果として精神的にも支えていくところにある。個々の加入者は「一人は万人のため、万人は一人のため」という大原則に日ごろ気にとめまいが、いざという時には、この仕組みが真価を発揮し、被災地の方々の保険金支払いを下支えしているのが全国の保険加入者である。その社会的役割を改めて浮き彫りにし、人と人のつながりという事業の社会性・公共性を再確認するところとなった。

それゆえまた地域の個々の顧客との平素からの縁作りの大切さ、顧客のことをよく知る代理店の顧客への愛、プロフェッショナルリズムの発揮が改めてクローズアップされることとなっている。

### 「クラブインシュアランス」戦略

保険の市場が縮小化し、新規獲得以上に既存の顧客とのつながりを図ることが求められる事業環境に直面して、保険代理店産業は、顧客との関係性を強化する取り組みが重要になる。言い換えれば、保険代理店は、自らの新業態開発について思いを巡らす時期に来ている。持続的な成長を考える場合は、平素から顧客との接点を多様化し、いろいろな生活シーンで、関連業界との提携・協力関係を構築することで、顧客への利便性の提供など付加価値サービスの強化が必要になっている。

こうした取り組みはかつて英国で、通販チャネルなどの攻勢に対抗し、既存顧客の流出防止のために提起された「クラブインシュアランス」戦略と呼ばれたものである。すなわち代理店やブローカー、保険会社において、カード戦略を軸に顧客向けの会員制サービスとして導入されたもので、その眼目は、顧客のロイヤリティ強化、囲い込みにあった。クラブ組織化はマイレージカードなど取引機会に応じ特典を付けるなど生保会社ベースでも導入されつつある。国内大手生保では、日本生命や第一生命、住友生命など顧客維持戦略として、ポイントカード家マイレージカードを活用し、取引の頻度や額、また取引頻度、接触チャンスに応じて、クラブインシュアランス戦略をとるところが複数社出ているが、代理店レベルでも取り組むところが出てきた。

### Tポイント活用の総合生活支援サービス

生保を主体に広域で総合保険代理店を営む傍ら保険代理店経営支援を全国で展開しているホロスプランニング(京都、代表取締役：堀井 計)がそれだ。このほどカルチャ・コンビニエンス・クラブ(東京、代表取締役社長兼 CEO：増田宗昭、以下CCC)と、Tポイントサービス導入に関しての業務提携に合意し、ホロスプランニングが今夏より開始するライフプラン総合支援サービス「L-club」にてTポイントサービスを提供するという。

この「L-club」では、ファイナンシャルプランニングやライフプランの設計サポート、生活全般に関わる様々なサービスを提供する総合生活支援サービス展開を予定している。「L-club」の開始に伴って「L-club」の様々なサービスの利用に応じたTポイント提供をはじめ、T会員に対しライフプランニングや保険の見直し、相続の相談など「ライフプラン」に関するサービス提供も計画している。

また、「L-club」利用者でTカードを保有していない方にはオリジナルのTカード発行も予定しているという。

ホロスプランニングは今後、他の保険代理店へも「L-club」のサービス提供を行い、また、不動産業、住宅販売業者、冠婚葬祭業、病院、介護施設などとの提携を進めることで、人生に関わる大きな節目に必要な情報やサービスを「L-club」を通じて提供していく予定という。

同社のライフプラン総合支援サービス業への業態転換は今後どのような展開をとるのだろうか。

(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)

# なるほど『ぎふ雑学』(26)

松尾 一

## 県(あがた)と県(けん) ~ 二つの県町とは?

岐阜県には岐阜市と羽島郡笠松町に「県町」があります。岐阜市の県町は「あがたちょう」と読み、笠松町の県町は「けんまち」と読みます



岐阜市の県町(あがたちょう)は名鉄岐阜駅のすぐ近く、神田町通りの西、岐阜中央郵便局の東にあります。ここには、町名の由来となった小さな神社、縣(あがた)神社があります。県町の縣神社は、伊奈波神社に祀られているイニシキイリヒコノミコトの御子でタキツラネノミコトが祀られています。ちなみに、近くの檀森神社には腹違いの兄(金神社は母)が祀られています。いずれもこの地方を拓いたというゆかりの神々です。

「県(縣・あがた)」とは、大宝2年(702)の美濃の戸籍に県造、県主の名が残るように古くから見られますが、古代の国の下の組織名と言う説や、朝廷の領地や畑、つまり朝廷の直轄地があったからだという説などがあります。

「県(縣)」の名が付く神社は、おおむね神々の時代や古代に、その地域を拓いた開祖や神々を祀っている古い神社なのです。

岐阜県には「県(縣)」の名が付く神社が幾つもあります。県神社は岐阜市茜部野瀬、山県市平井、加茂郡川辺町下麻生、下呂市桜洞、高山市国府町に、県主神社は美濃加茂市太田町にあります。大県神社は安八郡安八町、養老郡養老町にありますが、可児市瀬田の太元神社や、多治見市にある高社山の高社神社は、かつて大県神社といわれていました。

笠松町の県町(けんまち)は、町の中心地の木曾川沿いにあり、昭和15年に元陣屋町と上本町の一部が合併して出来た町です。こちらの由来は、県神社とは関係はなく、明治初期に岐阜県庁が置かれていたから名付けられた町名なのです。

江戸時代、徳川幕府は全国各地の幕府領に郡代や代官を置き陣屋を設けていました。美濃国の幕府領の陣屋は、当初、岐阜町(岐阜市)に置かれていましたが、岐阜町が尾張藩領になったため揖斐(揖斐郡揖斐川町)、可児郡徳野(可児市)と移転したのち、寛文2年(1662)、笠松に移転しました。笠松郡代とか美濃郡代、笠松郡代、笠松代官所、笠松役所と称された笠松陣屋には、江戸から22人の役人が出張して美濃国10数万石の幕府領と木曾川の水運を支配していたのです。

明治時代、藩を廃止して県を置く「廃藩置県」によって、加納藩が加納県となったように各藩が県となり、美濃国の幕府領や旗本領は笠松陣屋に「県」が置かれ笠松県となったのです。さらに美濃国と飛騨国(飛騨国は一時、信濃国と合併し筑摩県に)は合併して岐阜県となり、美濃国各地の県も合併され明治4年に岐阜県庁が笠松町に置かれました。しかし明治6年、岐阜町に移転してしまいました。この県庁の移転にあつては岐阜町と大垣町(大垣市)が誘致合戦をしていたのですが、岐阜町が勝利したのです。

現在、笠松町の県町には「美濃郡代笠松陣屋・県庁跡」の碑があります。



(まつお・いち) ライフワークは地域史(近世交通史)  
著書は『やっぱ岐阜は名古屋の植民地!?!』『北陸街道紀行』等多数

# カーナビの地デジ対策はお済ですか？



SHINWA グループ

会 長 名 和 盛 男

平素はSHINWAグループにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今回はカーナビの地デジ化についてお話をさせていただきます。

ご承知の通り7月24日でアナログ放送は終了になりますが、家庭用テレビに比べ、カーナビの地デジ化はずいぶん遅れています。その原因は、チューナーが家庭用に比べてずいぶん高価なこと（おおよそ2万～6万円、工賃別）や、カーナビの液晶画面が既に劣化していたり、地図情報が古くなっていたりして、本体の買い替えも比較検討されている方が多いようです。



さらには車両の寿命も勘案すると、カーナビ本体の買い替えはずいぶん高くつくものになってしまいます。テレビを我慢される方もみえるようですが、別付けのポータブルナビも選択の一つです。見栄えはすっきりしませんが、これなら車両を乗り換えても、付け替えが簡単です。これから検討される方は是非 SHINWAグループ各社にご相談ください。今後ともご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

SHINWAグループ13社の連絡先	TEL	FAX
オートボデーショップ篠田 (大垣以西)	0584-74-7892	0584-74-7833
平野鋳金工業 (岐阜市南西部・羽島郡)	058-271-0773	058-271-0784
オートサービスイトウ (岐阜市北西部・瑞穂)	058-327-7167	058-327-2708
名和自動車工業 (岐阜市東部・各務原)	058-245-0261	058-245-0262
和田鋳金工業 (岐阜市中西部)	058-251-7065	058-251-7095
AUTOPIT羽島鋳金 (羽島市以南・愛知北西部)	058-392-1521	058-392-1520
成田鋳金工業所 (多治見市)	0572-22-5456	0572-24-2244
東美自動車 (中津川市)	0573-68-3126	0573-68-3125
リフレッシュセンター渡辺 (瑞浪市)	0572-68-0980	0572-68-0982
カトー自動車工業 (可児市)	0574-62-3207	0574-62-3246
糸貫自動車 (本巣市)	058-323-1251	058-323-0753
米野自動車工業 (下呂市)	0576-25-2549	0576-25-4109
オートリペアカワシマ (岐阜市北部・山県市)	058-232-4185	058-232-4108



車のことはどんなことも、SHINWAグループ各社にご相談ください。

# 損害事故復旧サービス

## < 今月の復旧事例 >

住宅の外壁に落書きされてしまいました。腰壁のみなので簡易足場だけで済みましたが、手前のガードレール、床の養生が必要で、ペンキを2度塗りして復旧しました。  
(火災保険対応)

< 場所 > 岐阜市柳ヶ瀬通

< 費用 > ￥108,150 - (税込)

被害状況



復旧後



建造物復旧は、

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株)イケダ** へ。

☎ 058 - 271 - 6788 (24時間即日対応)

FAX: 058 - 271 - 6787

携帯: 090 - 2775 - 4085

E-mail: joho@homestep.com

### お知らせ

耐震補強工事について

昭和51年5月31日以前に建築された木造住宅のうち、  
大地震で倒壊のおそれのあるものは  
補助制度を利用できる場合がございます。

お気軽にご相談下さい。

# 交通事故による損害復旧工事

No.0094

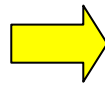
三重県津市地内

ガードレール復旧工事

復旧工事費用

391,400円

作業前



作業完



- \* 県道幹線道路のガードレール 16mの損害復旧工事です。
- \* 現場付近はカーブの重なる道路状況の為、警察にて施工協議を行い交通誘導員 6人+交通規制車 2台を設置しての工事となりました。

**夜間の緊急作業にも、迅速対応いたします。**

**Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする**

**24時間・年中無休の安心対応**

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

**有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨**

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635

金沢営業所 TEL 076-249-5128 FAX 076-249-5338

京都営業所 TEL 075-604-5888 FAX 075-604-5887

E-MAIL [giensouken@vega.ocn.ne.jp](mailto:giensouken@vega.ocn.ne.jp)

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

# 東日本大震災義援金報告 & 御礼

東日本大震災により被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、東日本大震災の義援金募金をお願いしたところ、多数の会員の皆様方より温かいご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

4月号にて岐阜県代協としての募金結果をお知らせいたしましたが、今月は東海ブロック協議会、日本代協としての義援金総額をお知らせ申し上げます。

【義援金募金結果】 受付期間 <平成23年 3月22日 ~ 4月25日>

代協別義援金

代協名	件数	金額
愛知県	83件	1,139,773円
岐阜県	75件	929,535円
静岡県	127件	710,100円
三重県	32件	287,920円
東海ブロック合計	317件	3,067,328円
日本代協 総計		19,134,451円

(5月10日現在)

4月末を目処にご協力をお願いしておりましたので、現時点の状況につきまして 上記の通りですが、まだ、これからお振込みされる代協もありますので、中間報告となります。

また、東日本大震災義援金の配分について、日本代協では、5月13日(金)の理事会において義援金の配分を決定次第、被災報告をいただいている下記各代協へ義援金の振込みをさせていただくとのことですのでご報告申し上げます。

<現時点で被災報告のある代協>

・北海道 ・青森 ・岩手 ・宮城 ・福島 ・茨城 ・埼玉 ・千葉 ・神奈川

CSR委員会担当副会長 小林 悦雄

## 編集後記

未曾有の東日本大震災が発生してはや2ヶ月が経ちました。これまでに多くの方々が、いろいろな経路で義援金募金をされたことと思います。現在でもいろいろな場所で募金箱を目にしますと少しでも役に立てばと思い募金します。皆様の思いが一日も早く被災者の方々に届き一日も早く復興されることをお祈り申し上げます。どんな小さな事でも今出来ることで一助となるなら迷わずにやりましょう！ (伊藤)

発行日 / 平成23年 5月25日

責任者 / 大江 金男 発行 / 広報機関誌委員会

〒502-0912 岐阜市西島町8 - 10 Tel 058-294-1221 Fax 058-294-8051

E-mail : [gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp) <http://www.hokendaikyo-gifu.org/>

【編集室メンバー】 笠城 茂、川島邦夫、北村篤俊、大野 広、後藤益充、野村幸弘、伊藤智之、成原大介、大江金男、小西恭弘、森 信彦